

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：農林水産事業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名 農場等バイオセキュリティ向上総合対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号：058-272-1111(内4159)

E-mail：c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 67,750 千円 (前年度予算額： 97,250 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	97,250	97,250	0	0	0	0	0	0	0
要求額	67,750	67,750	0	0	0	0	0	0	0
決定額	67,750	67,750	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

豚熱については、岐阜県では令和元年9月以降、飼養豚での発生は無いが、令和7年10月には群馬県において発生するなど、散発的な発生が続いている。また、野生いのししにおける感染については、全国的には九州まで拡大し、岐阜県内においても依然として継続しており、農場内への病原体侵入を防ぐためのバイオセキュリティの強化等、引き続き徹底した対策が必要である。

また、高病原性鳥インフルエンザは、令和6年シーズンに14道県51事例が発生し、約932万羽が殺処分の対象となった。特に養鶏集中地域での連続発生事例が見られ、鶏卵の需給への影響も生じる事態となった。国が示した「鳥インフルエンザ対策パッケージ」では、大規模養鶏場での分割管理の検討や塵埃対策の強化等の実施が新たに規定され、飼養衛生管理の向上が必要である。

(2) 事業内容

豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の発生に備え、バイオセキュリティ向上に資する設備・機器の導入等を支援する。また、農場の分割管理に取り組む際に必要となる設備・機器等の整備についても支援する

事業主体：市町村・畜産関係団体等

補 助 率：1/2以内

(3) 県負担・補助率の考え方

国：1/2（消費・安全対策交付金）、事業主体：1/2（県負担なし）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	67,750	農場のバイオセキュリティ向上、分割管理等に資する施設整備等への補助
合計	67,750	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「ぎふ農業活性化基本計画」（R8～12）（仮称・令和8年3月策定予定）
 - 基本方針4 安心できる農畜水産業と農村の環境整備
 - 4 生産を脅かすリスクへの対応
 - ①家畜伝染病に対応できる畜産産地づくり

(2) 国・他県の状況

豚熱の清浄国ステータス復帰に向けた「豚熱ロードマップ」が国から提示された。また、令和6年シーズンの全国的な高病原性鳥インフルエンザの感染拡大等を受け、国において「鳥インフルエンザ対策パッケージ」が示された。

(3) 後年度の財政負担

今後の方針、家畜伝染病の発生状況等により、後年度も財政負担が必要

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：市町村・畜産関係団体等

事業主体の妥当性：国の制度上、補助対象者が限定されているため

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

農場のバイオセキュリティ向上に資する設備導入等に対して支援を行い、県内における家畜伝染病の発生を抑止する。また、農場の分割管理の取り組みに必要な設備・機器等の整備を支援し、農場間の伝染性疾病のまん延防止及び家畜伝染病発生時の殺処分頭羽数の低減をはかる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

希望する事業者が国の制度を利用するための事業であるため、県としての指標設定にはなじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	養鶏場の分割管理のための農場境界柵、更衣室及び消毒ゲートの整備支援により、農場間の伝染性疾病のまん延防止と、高病原性鳥インフルエンザ発生時の殺処分羽数を低減する体制整備ができた。 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	養豚場のバイオセキュリティ向上のための野生動物侵入防止壁の設置支援により、豚熱の発生抑止に資することができた。また、養鶏場の分割管理のための堆肥舎等の整備支援により、農場間の伝染性疾病のまん延防止と、高病原性鳥インフルエンザ発生時の殺処分羽数を低減する体制整備ができた。 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価)	3 豚熱や高病原性鳥インフルエンザが全国的に継続して発生する状況を打開するために、バイオセキュリティ向上のための野生動物侵入防止壁の設置や鶏舎の塵埃対策、農場の分割管理等の必要性が高まっている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 農場での施設・機器等の整備補助のみならず、その適正な運用が図られるよう飼養衛生管理基準に基づく指導等を継続する必要がある。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 国の支援状況や制度改正等に合わせて、県としても必要な対応を適時実行していく必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】